

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4805
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1044	10	担当部課名 都市建設部道路課	
			担当課長名 佐々木 久人	

1 事務事業の概要

施策名	道路網の整備
第3期実施計画の事業名	市道敷地権原取得測量委託事業
財務会計上の事業名	市道敷地権原取得測量委託
事業の対象(誰(何)を)	住民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	市道敷地の権原取得
事業の目的(どのような結果を得るか)	市道敷地の後退部分等の寄附に伴う測量・分筆を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		1,144		965		1,484		2,500	
内訳	人件費(人・千円)	1.02人	8,568	0.60人	2,620	0.57人	2,360	0.58人	2,440	90.1%
	正職員	1.02人	8,568	0.10人	820	0.07人	560	0.08人	640	68.3%
	再任用職員		0	0.50人	1,800	0.50人	1,800	0.50人	1,800	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		9,712		3,585		3,844		4,940	107.2%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		9,712		3,585		3,844		4,940	107.2%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H23)
		成果指標 (1)						
	成果指標 (2)							
D	活動指標 (1)	権原取得測量	件	6	2	3	5	
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	1,618,667	1,792,500	1,281,333	988,000	71.5%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する21年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	寄附道路への対応ができています。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
例年通り	道路寄附に伴う分筆測量の費用軽減により、帰属しやすい環境になっている。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	特になし

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4810
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1044	11	担当部課名 都市建設部道路課	
			担当課長名 佐々木 久人	

1 事務事業の概要

施策名	道路網の整備
第3期実施計画の事業名	道路台帳作成事業
財務会計上の事業名	道路台帳作成事業
事業の対象(誰(何)を)	住民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	市道敷地の適切な把握
事業の目的(どのような結果を得るか)	前年度市道敷地として寄附・帰属を受けた道路台帳の更新を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業 コスト 等	区 分	20 年度 (決算)		21 年度 (決算)		22 年度 (決算)		23 年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)		4,620		4,694		2,730		
内 訳	人件費(人・千円)	0.87人	7,308	0.73人	3,686	0.64人	2,920	0.71人	3,480	79.2%
	正職員	0.87人	7,308	0.23人	1,886	0.14人	1,120	0.21人	1,680	59.4%
	再任用職員		0	0.50人	1,800	0.50人	1,800	0.50人	1,800	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		11,928		8,380		5,650		10,480	67.4%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		11,928		8,380		5,650		10,480	67.4%

指標 値	区 分	内 容	単 位	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	目標値 (H23)	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)		
D	成果指標	(1)							
		(2)							
	活動指標	(1)	道路台帳作成業務	回	1	1	1	1	
		(2)							

分析項目	計算式	単 位	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	11,928,000	8,380,000	5,650,000	10,480,000	67.4%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する21年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	GISに対応した帰属道路の台帳更新により、市道の適切な把握ができる。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
例年通り	
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	今後も継続

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4750
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1044	5	担当部課名	都市建設部道路課
			担当課長名	佐々木 久人

1 事務事業の概要

施策名	道路網の整備
第3期実施計画の事業名	交通安全施設整備事業
財務会計上の事業名	交通安全施設整備事業
事業の対象(誰(何)を)	住民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	安全性確保
事業の目的(どのような結果を得るか)	道路反射鏡、防護柵、区画線等の新設改良を行い、歩行者の安全確保と交通事故の減少を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		17,367		16,406		17,481		17,000	106.6%
内訳	人件費(人・千円)	2.53人	11,652	0.79人	6,478	0.84人	6,720	1.02人	5,960	103.7%
	正職員	0.53人	4,452	0.79人	6,478	0.84人	6,720	0.52人	4,160	103.7%
	再任用職員	2.00人	7,200		0		0	0.50人	1,800	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		29,019		22,884		24,201		22,960	105.8%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		29,019		22,884		24,201		22,960	105.8%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	歩行者の安全確保と交通事故の減少	街路灯(基)	6,049	6,146	6,211	6,250
成果指標 (2)		(数値は累計値)	反射鏡(基)	986	989	994	1,000	1,000
D	活動指標 (1)	各種安全施設の増加						
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円					-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する21年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	区画線の新設・改良により、通行の安全確保が図れた。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
例年通り	歩道の透水性舗装や交通安全施設の整備により、快適な生活空間を確保できる。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
バリアフリーの要望が強い	池田市交通バリアフリー基本構想に基づいた、歩道整備の推進。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	4755
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	1044	6	担当部課名	都市建設部道路課
			担当課長名	佐々木 久人

1 事務事業の概要

施策名	道路網の整備
第3期実施計画の事業名	交通安全施設維持管理事業
財務会計上の事業名	交通安全施設維持管理事業
事業の対象(誰(何)を)	住民
事業の手段[どうする(させる)ことで]	交通安全施設の機能の保全
事業の目的[どのような結果を得るか]	街路灯の維持管理及び防護柵・道路反射鏡の安全性を確保するため、各種交通安全施設の機能を確保する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		51,691		51,037		50,069		48,800	
内訳	人件費(人・千円)	2.13人	9,732	2.45人	20,090	2.89人	20,070	2.98人	16,440	99.9%
	正職員	0.43人	3,612	2.45人	20,090	2.39人	19,120	1.48人	11,840	95.2%
	再任用職員	1.70人	6,120		0		0	1.00人	3,600	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0	0.50人	950	0.50人	1,000	-
	支出合計 A	61,423		71,127		70,139		65,240		98.6%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	61,423		71,127		70,139		65,240		98.6%

指標値	区分	内 容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H23)
	D	成果指標 (1)	街路灯	件	1,273	1,009	986	20
成果指標 (2)		反射鏡	件	70	79	79	10	
活動指標 (1)								
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円					-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する21年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	市内の街路灯・カーブミラー・ガードレール等の交通安全施設の適切な管理に努めた。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
例年通り	街路灯の番号表示により、補修が迅速に対応できている。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	街路灯の電気使用料の軽減について、検討を要する。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4830
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1044	8	1	担当部課名 都市建設部道路課
				担当課長名 佐々木 久人

1 事務事業の概要

施策名	道路網の整備
第3期実施計画の事業名	道路維持管理事業
財務会計上の事業名	道路維持管理事業
事業の対象(誰(何)を)	住民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	道路補修により、快適・円滑な通行の確保
事業の目的(どのような結果を得るか)	道路施設の維持管理・道路の維持補修に伴う経費
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		32,683		18,227		18,679		21,651	
内訳	人件費(人・千円)	1.44人	11,136	0.85人	6,970	0.89人	7,120	1.66人	8,880	102.2%
	正職員	1.24人	10,416	0.85人	6,970	0.89人	7,120	0.66人	5,280	102.2%
	再任用職員	0.20人	720		0		0	1.00人	3,600	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	43,819		25,197		25,799		30,531		102.4%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	43,819		25,197		25,799		30,531		102.4%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H23)
	D	成果指標 (1)	道路補修により、快適・円滑な通行の確保					
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		迅速な管理事業による住民へのニーズの対応						
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円					-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する21年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	道路補修の迅速な対応により、円滑な通行の確保が図れる。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
例年通り	緊急修繕や除草など市民の要望に対して、迅速な対応ができています。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	将来的にも継続。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()			財務会計上の短縮番号 4835
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1044	8	2	担当部課名 都市建設部道路課 担当課長名 佐々木 久人

1 事務事業の概要

施策名	道路網の整備
第3期実施計画の事業名	道路維持委託事業
財務会計上の事業名	道路維持委託事業
事業の対象(誰(何)を)	住民
事業の手段[どうする(させる)ことで]	道路維持関連業務委託による、快適な生活への寄与
事業の目的[どのような結果を得るか]	道路維持関連業務を委託することにより、市民の快適な日常生活への寄与に努める。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		21,263		15,772		15,253		15,500	
内訳	人件費(人・千円)	0.80人	6,720	0.75人	6,150	0.73人	5,840	0.47人	3,760	95.0%
	正職員	0.80人	6,720	0.75人	6,150	0.73人	5,840	0.47人	3,760	95.0%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	27,983		21,922		21,093		19,260		96.2%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	27,983		21,922		21,093		19,260		96.2%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H23)
	D	成果指標 (1)	維持管理業務委託により、快適な生活への寄与					
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		迅速な委託業務による住民へのニーズの対応						
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円					-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する21年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由(担当課) 路面清掃や除草により、快適な生活空間の確保に努めた。
---	---	--

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
例年通り	駅前の路面清掃により快適な歩行空間が確保できる。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	今後も道路の維持管理に努める。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4840
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1044	8	3	担当部課名 都市建設部道路課
				担当課長名 佐々木 久人

1 事務事業の概要

施策名	道路網の整備
第3期実施計画の事業名	道路維持工事
財務会計上の事業名	道路維持工事
事業の対象(誰(何)を)	住民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	維持補修工事により、快適・円滑な通行の確保
事業の目的(どのような結果を得るか)	市内一円の市道及び市管理道路1263路線の維持補修を行ない、車両や歩行者の円滑な通行を確保するとともに、維持管理を効果的に行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		118,978		99,407		99,907		163,300	
内訳	人件費(人・千円)	1.60人	13,440	4.70人	38,540	4.77人	38,160	4.94人	39,520	99.0%
	正職員	1.60人	13,440	4.70人	38,540	4.77人	38,160	4.94人	39,520	99.0%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	132,418		137,947		138,067		202,820		100.1%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	132,418		137,947		138,067		202,820		100.1%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H23)
	D	成果指標 (1)	維持補修工事により、快適な通行の確保					
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		迅速な処理により住民へのニーズ対応						
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円					-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する21年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	市管理道路の舗装補修により、車両や歩行者の円滑な通行の確保。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
舗装補修の要望が多い。	要望に対し、迅速に対応できない場合がある。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	限られた費用での舗装補修のため、要望にこたえきれていない。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4807
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1044	99	担当部課名 都市建設部道路課	
			担当課長名 佐々木 久人	

1 事務事業の概要

施策名	道路網の整備
第3期実施計画の事業名	道路等管理システム運用事業
財務会計上の事業名	道路等管理システム運用事業(法定・法定外公共物管理事業)
事業の対象(誰(何)を)	住民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	譲与申請・管理業務の推進
事業の目的(どのような結果を得るか)	地方分権一括法の施行に伴い、法定・法定外公共物の譲与申請を行い管理システムの構築を図る
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)		1,418		1,365		1,365		
内 訳	人件費(人・千円)	1.07人	8,988	0.62人	2,784	0.06人	480	0.56人	2,280	17.2%
	正職員	1.07人	8,988	0.12人	984	0.06人	480	0.06人	480	48.8%
	再任用職員		0	0.50人	1,800		0	0.50人	1,800	0.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		10,406		4,149		1,845		4,280	44.5%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		10,406		4,149		1,845		4,280	44.5%

指標値	区 分	内 容	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H23)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)							
	成果指標 (2)							
D	活動指標 (1)	更新作業	回	1	1	1	1	
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	10,406,000	4,149,000	1,845,000	4,280,000	44.5%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する21年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	境界明示資料の境界確定業務のデータ化により、迅速な対応ができる。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
例年通り	明示に関する資料把握が迅速に行える。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	継続

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1044		担当部課名	都市建設部道路課
			担当課長名	佐々木 久人

1 事務事業の概要

施策名	道路網の整備
第3期実施計画の事業名	橋りょう整備事業
財務会計上の事業名	橋りょう長寿命化事業
事業の対象(誰(何)を)	住民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	橋りょう長寿命化修繕計画に基づく補修工事を行う。
事業の目的(どのような結果を得るか)	今後老朽化する道路橋に対応するため、従来の事後的な修繕から予防的な修繕へと転換を図り、地域の安心・安全な道路網を確保。
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input checked="" type="checkbox"/> 時限 平成22年度~平成26年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		0	0	0	0	35,547	3,000	-	
内訳	人件費(人・千円)	0.00人	0	0.00人	0	1.70人	13,600	0.09人	720	-
	正職員	0.00人	0	0.00人	0	1.70人	13,600	0.09人	720	-
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	0	0	0	0	49,147	3,720	-		
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C					49,147	3,720	-		

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H23)
	D	成果指標 (1)	橋長15m以上の10橋					
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		橋りょう長寿命化事業	橋	0	0	3	0	
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円			16,382,333		-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する21年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	長寿命化修繕計画に基づき、補修を行うことにより修繕工事費の平準化が図れる。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
	橋りょう補修により、地域の安心・安全な歩行空間を確保できる。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
橋長15m以上の橋りょう長寿命化修繕計画を策定する自治体が増加している。	社会資本整備総合交付金制度を活用し、修繕計画に沿った補修を実施していく。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	4657
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1044	4	担当部課名	都市建設部道路課
			担当課長名	佐々木 久人

1 事務事業の概要

施策名	道路網の整備
第3期実施計画の事業名	狭隘道路整備促進補助事業
財務会計上の事業名	狭隘道路整備促進補助
事業の対象(誰(何)を)	住民
事業の手段[どうする(させる)ことで]	狭隘道路の解消を図る。
事業の目的[どのような結果を得るか]	私有地の後退部分を市道及び市所有道路として寄附等を行なう場合に助成を行い、狭隘道路の解消を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		21,572		12,145		2,607		10,200	
内訳	人件費(人・千円)	1.33人	11,172	1.08人	6,556	0.63人	1,990	31.50人	249,000	30.4%
	正職員	1.33人	11,172	0.58人	4,756	0.13人	1,040	31.00人	248,000	21.9%
	再任用職員		0	0.50人	1,800		0		0	0.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0	0.50人	950	0.50人	1,000	-
	支出合計 A	32,744		18,701		4,597		259,200		24.6%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	32,744		18,701		4,597		259,200		24.6%

指標値	区分	内 容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H23)
		成果指標 (1)						
	成果指標 (2)							
D	活動指標 (1)	狭隘道路整備	件	28	18	4	12	
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	1,169,429	1,038,944	1,149,250	21,600,000	110.6%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する21年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由(担当課) 狭隘道路の解消を図るための補助を個人限定
---	---	------------------------------------

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
例年通り	狭隘道路解消のための中心後退部分の分筆測量・舗装整備の助成のため、好評
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
家屋の建替え時に発生する事業のため、長期の年数を要する。	中心後退部を寄附しない場合がある。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4874
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1044		担当部課名 都市建設部道路課	
			担当課長名 佐々木 久人	

1 事務事業の概要

施策名	生活道路の整備
第3期実施計画の事業名	歩道改良事業
財務会計上の事業名	歩道改良事業
事業の対象【誰(何)を】	地区住民
事業の手段【どうする(させる)ことで】	歩行者の安全確保
事業の目的【どのような結果を得るか】	池田市交通バリアフリー基本構想に基づく、未整備路線における歩道の改良・拡幅及び縦断勾配の解消を行い、歩行者の安全で快適な歩行空間を確保する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時 限
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市交通バリアフリー基本構想

2 事業コスト・指標値の推移

事業 コスト 等	区 分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)		10,590		8,978		5,940		
内 訳	人件費(人・千円)	0.90人	7,080	0.43人	3,526	0.28人	2,240	0.18人	1,440	63.5%
	正職員	0.80人	6,720	0.43人	3,526	0.28人	2,240	0.18人	1,440	63.5%
	再任用職員	0.10人	360		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		17,670		12,504		8,180		7,440	65.4%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		17,670		12,504		8,180		7,440	65.4%

指標 値	区 分	内 容	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H23)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	整備率(全長2,420m)	m	120.0	162	184	150	150
	成果指標 (2)							
D	活動指標 (1)							
	活動指標 (2)							

分析項目	計 算 式	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円					-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する21年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選 択 の 理 由 (担当課)	歩道改良・拡幅により歩行者の安全で快適な歩行空間が整備できた。 交通バリアフリー基本構想に基づく路線については引き続き整備を進めていく必要がある。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
	歩道の透水性舗装などの改良により、快適な歩行空間が確保できる。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
バリアフリーの要望が強い。	基本構想に基づく計画における、特定経路の整備はH22年度で修了。国府の補助がなく整備が遅れているが、基本構想の未整備路線についても本市の財政状況を鑑み、今後も整備を進めていく必要がある。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 5105
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1041	1	担当部課名 都市建設部まちづくり課	
			担当課長名 小山 英之	

1 事務事業の概要

施策名	道路の整備
第3期実施計画の事業名	都市計画道路現地明示測量作業
財務会計上の事業名	都市計画道路現地明示測量作業
事業の対象(誰(何)を)	都市計画道路内で建築をされる申請者
事業の手段[どうする(させる)ことで]	現地測量を実施し、申請地に明示杭を設置して都市計画道路の計画線を申請者に示す。
事業の目的[どのような結果を得るか]	都市計画道路区域内の建築行為に関して、申請者(土地所有者)の要請に対応して現地に明示杭をうち、指令図を交付する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和45年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成13年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	0	347	174	600	50.1%			
内訳	人件費(人・千円)	0.50人	4,200	0.12人	984	0.08人	640	0.23人	1,180	65.0%
	正職員	0.50人	4,200	0.12人	984	0.08人	640	0.08人	640	65.0%
	再任用職員	0	0	0	0	0.15人	540	-	-	-
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	-	-	-
	アルバイト	0	0	0	0	0	0	-	-	-
支出合計 A		4,200	1,331	814	1,780	61.2%				
財源	国・府支出金					-				
	受益者負担 B					-				
	その他財源					-				
	一般財源 C	4,200	1,331	814	1,780	61.2%				

指標値	区分	内容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)							
	成果指標 (2)							
	活動指標 (1)	都市計画道路現地明示測量件数	件	0	2	1		60
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円		665,500	814,000		122.3%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	都市計画道路の明示申請については申請者からの申請に基づき実施するため。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
長期に亘り必要な作業であり、将来の道路事業の円滑な推進に寄与する。	都市計画道路に係る建替時期到来による件数の増加が予想される。